

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で9,600cells/ml、ケラチウム属が最高で430cells/ml、シャットネラ属が最高で9cells/ml確認されました。

カレニアは全ての観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。

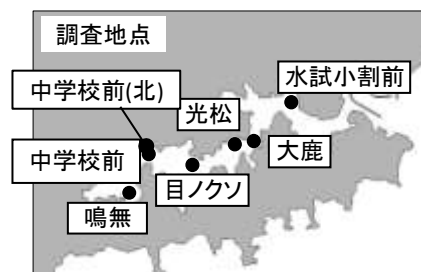
ケラチウムも鳴無、中学校前、目ノクソ、光松、大鹿で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。

これらは今後さらに増殖する危険性があります。餌止めを行うなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ケラチウム属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	3	50,900
	2m	5,700	0	300	2,800
	透明度:1.7m	700	0	26	700
目ノクソ	0m	1	0	1	472,300
	2m	7,100	0	325	10,300
	透明度:1.5m	580	0	80	1,000
光松	0m	6	0	0	25,200
	2m	410	0	110	8,000
	透明度:2.0m	470	0	90	400
大鹿	0m	1	0	0	30,800
	2m	1,150	0	60	4,900
	透明度:2.0m	440	0	110	1,100
水試小割前	0m	0	0	3	15,200
	2m	430	0	70	4,000
	透明度:2.4m	210	0	40	500
鳴無	0m	6,300	0	0	
	2m	9,600	9	143	
	透明度:1.1m	1,100	0	40	
中学校前(北)	2m	6,400	1	430	



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属:
100cells/ml(餌食いの悪化)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>